

総務分科会会議記録

- 1 期 日 令和4年10月3日（月）
午前10時33分 開会
午前10時47分 閉会
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員長 村岡 峰男
副委員長 松井 正志
委員 浅田 徹、太田 智博、
小森 弘詞、田原 宏二、
前田 敦司
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼議事係長 山本慎二
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

総務分科会長 村岡 峰男

総務分科会次第

2022年10月03日（月） : ～
第1委員会室

1 開会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

第95号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第7号）

(2) 意見・要望のまとめについて

4 その他

5 閉会

2022年度 豊岡市議会総務委員会名簿

2022年10月3日(月)

【総務委員】

委員長	村岡 峰男
副委員長	松井 正志
委員	浅田 徹 太田 智博 小森 弘詞 田原 宏二 前田 敦司

7名

【説明員】 ※出席者に着色しています

議会事務局	
議会事務局長	熊毛 好弘
議会事務局次長	坂本 英津子
政策調整部	
政策調整部長	塚本 繁樹
政策調整部次長兼公共施設マネジメント推進室長	久保川 伸幸
秘書広報課長	山口 繁樹
秘書広報課参事	小野 弘順
政策調整課長	井上 靖彦
財政課長	長谷川 幹人
防災監	山本 尚敏
防災課長	畑中 聖史
総務部	
総務部長(会計管理者)	堂垣 真弓
総務部次長兼ジェンダーギャップ対策室長	土田 篤
総務部次長(キャリアデザイン・ハラスメント担当)兼ジェンダーギャップ対策	岸本 京子
総務課長	太田垣 健二
総務課参事(文書法制担当)	宮代 将樹
人事課長	小川 琢郎
デジタルトランスフォーメーション推進部	
デジタルトランスフォーメーション推進部長	谷口 雄彦
D・X・行財政改革推進課長	若森 洋崇
情報推進課長	中奥 実

地域コミュニティ振興部	
コミュニティ振興課長	若森 和歌子
市民生活部	
税務課長	宮崎 雅巳
税務課参事	瀬崎 晃久
城崎振興局	
地域振興課長	藤原 孝行
竹野振興局	
地域振興課参事	山根 哲也
日高振興局	
地域振興課長	池内 章彦
出石振興局	
地域振興課長	午菴 晴喜
但東振興局	
地域振興課長	道下 一
会計課	
会計課長	西村 嘉通
消防本部	
消防長	井崎 博之
消防本部次長兼総務課長	土田 有紀
消防本部参事兼豊岡消防署長	川見 真司
予防課長	井上 光彦
選挙管理委員会・監査委員事務局	
選管監査事務局長	中川 光典

説明員計 2名

【担当事務局職員】

議会事務局主幹兼議事係長	山本 慎二
--------------	-------

議案審査	2名
------	----

計 10名

午前10時33分開会

○分科会長（村岡 峰男） それでは、40分から開会というふうに宣言がありましたけども、おそろいですので、もう始めたいと思います。引き続いての分科会ですので、どうぞ活発な議論をよろしく願いいたします。

それでは、総務分科会を開会いたします。

欠席等々ありません。

委員の皆さんは、Side Books上のフォルダー、ホーム、総務委員会、総務04.10.03が本日の委員会のフォルダーです。そこに本日の分科会次第を配信しております。

委員の皆さん、並びに当局の皆さんは、質疑、答弁に当たりましては、要点を押さえて簡潔明瞭に行っていただき、スムーズな議事進行にご協力をお願いをしておきます。

なお、委員会及び分科会での発言は、委員長、分科会長の指名の後、マイクを使用して課名と名字を名のってから行っていただきますようお願いをしておきます。

それでは、これより、3番、協議事項、(1)番の分担案件の審査についてに入ります。

第95号議案、令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

第95号議案中、当分科会に審査を分担されましたのは、所管事項に係る歳入予算補正についてであります。

当局の説明を求めます。

長谷川財政課長、どうぞ。

○財政課長（長谷川幹人） 追加議案書の7ページをご覧ください。第95号議案、令和4年度一般会計補正予算（第7号）でございます。

第1条で歳入歳出それぞれ8億8,598万4,000円を追加しまして、総額513億9,126万9,000円とするものでございます。

本件の概要ですが、大きく3つございます。

まず、1点目は、エネルギー・食品価格等の物価高騰を受けまして、住民税非課税世帯等に対して1人当たり5万円を支給するための経費といったこ

とになります。

2つ目につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が拡充されまして、電力・ガス・食品等価格高騰重点支援地方交付金が新たに創設、本市には約2.4億円が交付される見込みということになっております。この交付金を活用しまして、1人当たり5,000円分の買物クーポン、PREMIUM豊岡+（プラス）の実施、給食材費の高騰分を追加支援とするものでございます。

3点目につきましては、マイナンバーカードの申請受付体制を強化するための必要な経費を増額とするものでございます。

財源としましては、16ページ、17ページをご覧ください。国庫補助金や地方創生臨時交付金などのほか、一般財源には、先ほどありましたように前年度繰越金を充てるといったことにしております。

なお、財政課が所管します歳出はありません。説明は以上です。

○分科会長（村岡 峰男） 説明は以上のようなのですが、あまりにも短過ぎて、えってなもので。

質疑ありませんか。

歳入。具体的には、この歳入の中で、この当分科会に付託されたのは。

はい、どうぞ。

○財政課長（長谷川幹人） 地方創生臨時交付金と前年度繰越金、この2点でございます。

○分科会長（村岡 峰男） 繰越金。のようです。どうぞ、皆さん。

はい、どうぞ。

○委員（松井 正志） なら、時間がありますんで。

一部、建設経済の所管の関係になると思うんですけども、本会議でも質問があった関係で、いわゆる、これはPREMIUM豊岡+（プラス）の5,000円についてですけども、この5,000円の前提となる現在のPREMIUM豊岡の執行状況、悪いというふうに聞いてるんですけども、何かそういうふうな情報は入ってますか。分かりますかね。

○分科会長（村岡 峰男） はい、どうぞ。

○財政課長（長谷川幹人） ちょっと古い数字です。

9月20日現在なんですけど、販売率が約40%ということは聞いております。以上です。

○分科会長（村岡 峰男） はい、どうぞ。

○委員（松井 正志） これまでというか、プレミアム慣れをしてるというのが一つあるんですし、それから、1枚に対して2,000円の上積みというところで、あんまりお得感が少ないということを皆さんが感じられた部分がある原因かなというふうなことも思うんですけども、それに今回、5,000円配られるっていうことは、相当思い切った施策になるんじゃないかと思えます。ですから、期待はできると思いますが、ぜひ有効に利用していただいたらいいんですけども、一方で、要するに一般財源の出し方が適切かどうか、妥当かどうか、これはもちろんいろんな考え方ができるんで、当局のほうとしては、適切であるというふうに感じておられると思うんですけども、その辺りの考え方、いわゆる一般財源を継ぎ足すことについての決意といいますか、そういうことをお教えいただけますか。

○分科会長（村岡 峰男） はい、どうぞ。

○財政課長（長谷川幹人） まず、プレミアム商品券のほう、前の商品券のことについては、あくまでもコロナ対策としまして、もちろん市民もそうなんですけど、業者側、事業者側の支援という要素があるといったことでございます。

今回につきましては、あくまでも名称にありますように、電力・ガス・食品等の価格高騰の支援交付金といったことでして、全ての市民が対象というふうに考えています。市としましては、本当に全ての市民の、金額的に少しかもしれませんが、姿勢としまして、これぐらいが妥当だというふうに考えてます。

また、周辺の養父市でも5,000円ということもありましたので、我々としては、一般財源を出してでも、この程度になってしまうんですけど、5,000円程度はしたいというのが我々の思いでございます。以上です。

○委員（松井 正志） 分かりました。いいです。

○分科会長（村岡 峰男） ほか、ないですか。

まあ、この委員会じゃないけど……。

○委員（浅田 徹） まあ、ちょっとこの委員会じゃない、繰越しを執行するという事の中で、今、松井委員からありましたように、市のプレミアム、これが40%だと。この辺の原因とかね、こちらの考え方じゃないけども、市民のほうからの声とか、かなり今回はどの商店でもということで、1市各5町それぞれの地域でも使えるように、商店名まで記載されて、かなりきめの細かい、商店等も幅広くというふうなことを思ってるんですけども、まずその辺についての今の状況把握といいますか、どうなってるかということと、今後、やっぱりそれはどうなんだろう、今、40%だけでも、一応予算としては、まだ執行中というふうな事の中で、その辺の見込みについてはどうか、ちょっとこの辺も状況を教えていただきたい。

○分科会長（村岡 峰男） はい、どうぞ。

○財政課長（長谷川幹人） ちょっと担当課ではないんで、推測であったり、ちょっと聞いたこと中心になるんですけど、まず、執行率が40%ということで、先ほど、松井委員も言われたように、ちょっと一部、市民の方にも慣れっていうものがあるのかな。例えば、EAT豊岡であったり、いろいろなことしてますので、ちょっと慣れということもあるのかなというのは我々も考えています。

それと、一部意見ですけど、例えば今回、1万円に20%プレミアムですけど、その1万円も工面するも大変だという方もおられるとは我々聞いてます。ですんで、今回は、オンプレミアムじゃなくて、給付型5,000円を商品券を配るといったことも、実はこれ、一つの要因でございます。

○分科会長（村岡 峰男） はい。

○委員（浅田 徹） じゃあ、言い方は悪いですけど、この5,000円っていうのはプッシュ型で、各世帯に郵送されると。これが実際の、タイムラグがあるのかな。つまり、この5,000円が来たなと、そしたらまた1万円の、1万2,000円のプレミアムの期間残つとるやないかと。これは、仮に、言い方悪いですけど、その辺のある程度期間的な、

言わば使用できる期間がバッティングというか、うまくそういう相乗効果、それだったら、これも買えたら、1世帯、例えば4,000円か、4,000円はいいねみたいなことにつながっていくというような、その辺の時間的な、言わば重なるような、こういうことについてはどうなのか、そういう効果というか。

○分科会長（村岡 峰男） 答えれる範疇でいいですよ。

○委員（浅田 徹） ごめんよ。

○財政課長（長谷川幹人） ちょっと我々は逆にちょっと危惧してるのが、この5,000円を配ることによって、プレミアムのほうが、ちょっと執行率、購入率が低くなるかもしれないっちゃうの、実は逆に危惧をしています。できたら、我々としても相乗効果で、これを5,000円配りましたので、プレミアム商品券のほうも買ってもらえる相乗効果が一番ありがたいとは期待はしてるんですけど、ただ、一方にそういったやっぱり執行率、プレミアム商品券のほうの購入率は下がってしまうかもしれないという危惧、これ一応両方持っております。以上です。

○分科会長（村岡 峰男） はい。

○委員（浅田 徹） まあ、いろんな考え方、取り方、まあ、以上です。ありがとうございました。

○分科会長（村岡 峰男） ほかの方、どうですか。いいですね。

じゃあ、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。ありませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（村岡 峰男） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（村岡 峰男） ご異議なしと認めます。

よって、第95号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で分担されました案件の審査は終了しました。

ここで、委員の皆さん、当局委員の皆さんから、ほかに何かありましたらご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（村岡 峰男） ありませんか。

それでは、当局の皆さん、ご退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

これより、3番、協議事項、意見・要望のまとめついでに入ります。

当分科会に審査を分担されました案件の審査は終了しました。

ここで、分科会意見・要望として、予算決算委員会に報告すべき内容について協議いただきたいと思います。

要望、意見等はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（村岡 峰男） 特にありませんね。

次に、予算決算委員会での分科会長報告についてですが、内容につきましては、正副分科会長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（村岡 峰男） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

それでは、これよりその他に入ります。

その他、委員の皆さんほうから、何かあればお願いします。特にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（村岡 峰男） 以上をもちまして総務分科会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時47分閉会
